

読み方は
バイラルラー

БАЯРЛАЛАА

ありがとう
の意味です。

世界的に新型コロナウイルスが感染拡大していることを受け、モンゴルでは入国規制や全ての教育機関等の休校などの措置がなされています。また、2月24日～26日にある旧正月もお祝いをしないようモンゴル政府は国民に呼びかけています。

今年は残念ながらお祝いすることができそうにないですが、モンゴルの旧正月は日本にはない文化がたくさんあるので、昨年私が経験した旧正月を紹介したいと思います。

モンゴルの旧正月

モンゴルでは旧正月のことを「ツァガンサル（白い月）」と呼びます。ツァガンサルでは元旦に家族で集まり、ごちそうを食べます。机にはモンゴルの方々が尊ぶ白色の料理が並べられ、家族で挨拶をした後は親戚、友人、知人を招きもてなします。

<服装>



これは、「デール」と呼ばれる民族衣装です。民族ごとにさまざまな特徴があり、種類は400種類以上あるそうです。私が着ているオレンジのデールはワンピース風にデザインされています。

デールは遊牧や日常生活にも便利な作りになっていますが、昨今では、特にお祝い事に欠かせない衣装になっており、旧正月、入学式や卒業式などの行事に着ることが多いです。

<挨拶の仕方>

家に行くと、まずは年長者に、「アマルバイノー？（お元気ですか？）」と言いながら、肘を曲げ、手のひらを上に向けて年長者の腕の下に自分の腕を添え挨拶をします。そして右、左の順番に頬を近づけます。

自分より年下の方と挨拶するときには、自分の腕を上に出します。

同い年の方と挨拶をするときには、片方の腕が上に、もう片方の腕が下になるようにします。また、同じ年の方と挨拶をするときには、頬を近づけないそうです。



<旧正月料理>

各家庭では豪華な食事が並べられています。



ヘピンボープ（硬い大きいクッキー）

下から「幸せ、不幸せ、幸せ・・・」と数えるため必ず奇数で積み上げられています。

若い家主であれば3段、50歳までは5段、それ以上の年齢では7段もしくは9段で積み上げるそうです。上には白色のお菓子や砂糖が置いてあります。

オブチョー（蒸した牛肉）

ウゼムテイボダー（日本版お赤飯）干しブドウを入れて炊かれたご飯です。



ボーズ（蒸し餃子）

ツァガンサルには欠かせないお祝い料理です。一軒に付き一人3つ以上食べるのが礼儀です。



その他には、アイラグ（馬乳酒）、アリヒ（ウォッカ）、サラダ、果物やチョコレートも並べられています。また、挨拶に行った際には新札やプレゼントをお互いに渡し合うことが礼儀になっています。このようにモンゴルでは、幸せ溢れる1年が始まるように新年を家族でお祝いし、親戚、友人、知人のお家に1日に何軒も足を運び挨拶をしていきます。

